



# 市民協働かわら版

No.13（平成27年6月30日発行）  
発行：泉南市総合政策部政策推進課  
〒590-0592 泉南市樽井 1-1-1  
Tel.072-483-0004

市民の皆さんが集まって、泉南市のまちづくりに関して自由に楽しく語り合い、将来のまちづくりに活かしていく、平成27年度第3回「泉南・市民まちづくりサロン」が6月24日（水）に市役所別館1階 会議室1・2で開催されました。

市民7名（男5名、女2名）、阪南大学国際観光学部の学生1名及び職員6名（行革・財産活用室2名、都市計画課1名、事務局〔政策推進課〕3名）の総勢14名が参加し、サロンが始まりました。（共催：泉南市ABC委員会）

今回は、「泉南市の人口ビジョン策定に向けて」、「ファシリティマネジメント」について市職員が説明し、意見交換が行われました。

## 【サロンでの説明】

※「泉南市の人口ビジョン策定に向けて」

- \* 東京一極集中の是正及び地域課題の解決が必要である。
- \* 総合戦略を推進し、2060年の泉南市の人口を現在の8割の減少に抑える。
- \* 泉南市の人口を減らさない、維持することが行政サービスの向上につながる。

※「ファシリティマネジメント」

- \* 施設機能の複合化・集約化等による施設の保有総量の抑制
- \* 未利用財産等の有効活用による適正化
- \* 公共施設等の維持管理経費の適正化及び長寿命化

## 【サロンでの主な意見】

- \* 人口が減少する中、行政主体で対応策を進めても地域はよくなると思う。
- \* 山から海へのアクセスを整備すると利便性が向上し、生活圏がよくなるのではないか。
- \* 複合化・集約化というが、場合によっては分散化も必要になってくるのではないか。
- \* 複合化・集約化することで災害が発生した時に、近くの避難所がなくなることが心配である。
- \* まちに魅力があれば人口は増える。
- \* 市民を市外に転出させない方法はあるのか。
- \* サロンの参加者でせんなん子ども会議に参加して子どもたちの意見を聞かせてもらいたい。

## 【意見に対するサロンで話し合った内容】

- \* 地元の魅力を皆で考える
- \* 現在ある施設の有効活用
- \* 学校の誘致・働く場所の確保
- \* せんなん子ども会議への参加



※以上が、今回のサロンでの主な意見と意見に対するサロンで話し合った内容です。

※次回は7月22日（水）午後1時30分から泉南市立浜老人集会場で開催する予定ですので、多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。